エキマエ、はじまる。

2025 年 4 月 24 日
ＪＲ東日本秋田支社

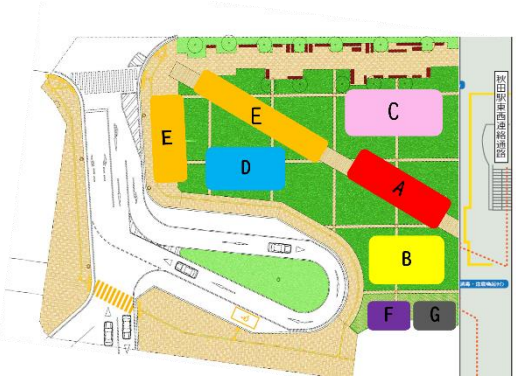
エキマエ、はじまる。さんど市　５月期
「芝生で遊ぼう！エキマエフィットネス」を開催します！

ＪＲ秋田支社では、秋田駅周辺のにぎわいを創出するため、2021 年 11 月から「エキマエ、はじまる。さんど市」を開催しています。

５月期は「フィットネス」をテーマに開催します。エアートランポリンを使用した体操教室や、ウォーキングレッスンなど、幅広い年代で楽しめる体験ブースに加え、飲食販売ブースも設けます。各分野のスペシャリストと一緒に楽しく学びながら体験ができる内容となっています。ぜひこの機会にお越しください。

1　開催概要

日　時：2025 年 5 月 24 日（土）10 時 00 分から 16 時 00 分まで
場　所：秋田駅西口駅前広場（芝生広場）
主　催：JR 東日本秋田支社
後　援：秋田県、秋田市
協　力：M's スポーツクラブ、
デューク更家公認ウォーキングスタイリスト SAYAKA、
ジェクサー・ライトジムメトロポリタン秋田、
秋田県障害者フライングディスク協会
※荒天等により、中止または内容が変更となる場合があります。



【会場イメージ図】

2　イベント内容

⑴　体験ブース

①　【会場図 A】エアートランポリン体験（M's スポーツクラブ）

内　容	時　間	料　金
エアートランポリンを使用した体操教室	終　日	500 円/15 分
縁日コーナー（千本引き）		500 円/１回
縁日コーナー（スーパーボールすくい）※		200 円/１回
縁日コーナー（ヨーヨー釣り）※		200 円/１回

【エアートランポリンイメージ】

その他、M's スポーツクラブの野外体験活動などでも使用している、薪やスウェーデントーチを販売します。
※体操教室を体験した方は無料

②　【会場図 B】ウォーキングレッスン体験（デューク更家公認ウォーキングスタイリスト SAYAKA）

内　容	時　間	料　金
ウォーキングレッスン	①11：00～　②13：00～　③14：00～	無　料

計３回（各 20 分程度）実施します。
なお、当日の状況により、開始時間及び実施回数が変更となる場合があります。

【ウォーキングレッスンイメージ】

③ 【会場図 C】ボッチャ・フライングディスク体験（秋田県障害者フライングディスク協会、JR 東日本秋田支社）

内　容	時　間	料 金
ボッチャ体験	10：00 ～ 14：00	無 料
フライングディスク体験	14：00 ～ 16：00	

④ 【会場図 D】体力測定・自重トレーニング体験（ジェクサー・ライトジムメトロポリタン秋田）

内　容	時　間	料 金
体力測定（握力測定、長座体前屈等の簡単なもの）	終 日	無 料
自重・体幹トレーニング		

【体幹トレーニングイメージ】

⑵ グルメブース【会場図 E】

出店名	提供商品
煙～KEMURI～	チキンのミートソーススパゲッティ、ザンギなど
Wa fruits	ワッフル各種、ロールアイス各種、りんごシャーベット
米粉食堂	クレープ各種（バナナ、イチゴなど）

※商品がなくなり次第販売終了します。

⑶ 受付ブース【会場図 F】

① 体験ラリー

・A から E の各ブースのうち、3 箇所で体験または購入した方は、ノベルティが必ず当たるカプセルトイに 1 回挑戦できます。

・指定の用紙を受け取り、各ブースで体験または購入後、各ブースのスタッフから用紙にチェックを受けてください。

②「これが秋田だ！食と芸能大祭典 2025」との連携企画

同日に開催されている「これが秋田だ！食と芸能大祭典 2025」の JR 東日本秋田支社ブース（エリアなかいち会場）で配布しているチラシを持ち、さんど市へお越しいただいた方には以下のチャンス企画をプレゼントします。

・チラシ持参で体験ラリーへ参加いただくと射的に挑戦できます。

・射的の結果により、最大 3 回カプセルトイを回すことができます。

⑷ 情報発信ブース【会場図 G】

あきた芸術劇場ミルハスをはじめ、周辺文化施設のイベント情報等をお届けします。

※画像はすべてイメージです。

※お怪我をされた場合でも、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

3　6 月期のエキマエ、はじまる。さんど市について

6 月 21 日（土）に「音楽・芸術」をテーマにしたイベントを開催予定です。

「エキマエ、はじまる。さんど市」とは・・・

プロジェクト名の「エキマエ、はじまる。」と「さんど市」を掛け合わせたものです。「さんど」とは第 3 土曜日に開催されること、また様々な具材があるサンドイッチになぞらえて、秋田駅周辺の事業者との融合や幅広いコンテンツを織り交ぜた催しであることを「さんど」で表しています。そして、多くの人が集う場所を意味する「市」をとって「さんど市」としました。